

## 2021 年度 中学・高校・一般記録会開催要項

- 1 主催 一般財団法人 札幌陸上競技協会
- 2 日時 2021 年 10 月 16 日(土) 午前 8 時 30 分競技開始
- 3 会場 札幌市厚別公園競技場 〒004-0033 札幌市厚別区上野幌 3 条 1 丁目 2 番 1 号 TEL011-894-1144
- 4 競技種目 男子種目 ・100m 400m 高校・一般 110mH 中学 110mH 走幅跳  
やり投  
女子種目 ・100m 400m 高校・一般 100mH 中学 100mH 走幅跳  
やり投
- 5 競技方法 2021 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則による。
- 6 出場資格 2021 年度 (公財)日本陸上競技連盟登録者であること。出場者は、札幌陸協または、高体連札幌支部所属であること。(小学生の参加は不可) 競技会当日のインターネット映像配信について承諾する者。
- 7 出場制限 1 人の出場種目は 1 種目のみとする。
- 8 参加申込 大会参加に際して提供される個人情報とは本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。期日までにアスリートランキング®に入力し申し込むこと。(締め切り期日後のエントリー不可)
- (1) エントリー方法  
アスリートランキング(<http://www.athleteranking.com/>)よりエントリーすること。  
**※アスリートビブスおよび腰ナンバーカードは各団体・個人で準備すること。**
- (2) エントリー締め切り  
10 月 8 日(金)24 : 00 時間厳守 (アスリートランキング 入力完了 ※団体の場合は審判希望も入力願います。)
- (3) 参加料受付  
10 月 12 日(火)までに下記の口座への振り込みを済ませ、大会当日の受付作業の簡略化にご協力ください。  
振込先 ゆうちょ銀行 02790-0-101525 一般財団法人 札幌陸上競技協会  
※必ず添付ファイルの送金連絡票にて、送金された方の氏名とチーム名を E-mail または Fax でご連絡ください。E-mail sapporokirokukai@yahoo.co.jp Fax011(532)2471
- (4) 参加料 一般、高校生、中学生ともに 900 円 1 人 1 種目のみ
- 9 新型コロナウイルス感染拡大の防止に関わって(感染防止対策は継続します。)
- (1) 本競技会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、観客の入場はメインスタンドのみとする。
- (2) 出場者は所定の体調管理チェックシートを主催者に提出すること。  
(競技会一週間前から記入し、受付時に団体単位で提出する。)
- (3) 各団体代表者は所属選手の健康状態の把握に努め、異常がある場合は直ちに対応し、主催者に報告すること  
(主催者の指定する待機場所を使用すること)
- (4) 体調がよくない場合には自主的に参加を見合わせる事
- (5) 同居家族や知人に感染が疑われる方がいる場合には自主的に参加を見合わせる事
- (6) 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地方な等への渡航、または当該在住者との濃厚な接触者がある場合は自主的に参加を見合わせる事
- (7) 必ずマスクを持参すること (運動時以外はマスクを着用すること)
- (8) こまめな手洗いや洗顔などを実施すること (主催者が石けんを設置する)
- (9) 用具(やりなど)使用後は手洗またはスプレーで除菌をすること
- (10) ウォーミングアップは競技場内およびスタンド下で行い、「密」をつくらぬよう心掛けること  
(補助競技場は他の競技団体が使用するため使用不可)
- (11) 運動中、痰やつばを吐くことは極力行わないこと。また、ゴミはすべて持ち帰ること
- (12) どの場面においても、他の競技者、競技役員との距離をできるだけ確保すること
- (13) 大きな声での会話や応援はしないこと 応援は拍手で行う
- (14) 各チームは待機場所のスペースにゆとりを持たせるよう努め、できる限り密を避けること。
- (15) テントを使用する際は密閉状態にならないよう留意し、換気を心がけること。(雨天時でも 30 分に 5 分換気)

- (16) 飲食については周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け、会話を控えること
- (17) タオルの共用、ドリンクの回し飲みはしないこと
- (18) 団体代表者は、選手の競技場滞在時間が短くなるよう配慮すること
- (19) 競技会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などを報告すること
- (20) 感染予防のために主催者が決めた他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

※上記(1)～(20)について、団体代表者は全参加者(保護者も含む)に必ず内容を知らせ、遵守するように指導すること

## 10 その他

- (1) 出場者は腰ナンバー（1～9）を各自で準備すること。
- (2) 投てき用具は必要数用意するが、借り上げも予定している。その場合は、用器具庫前で検定を受けること。
- (3) 競技で使用する滑り止め（炭酸マグネシウム等）は各自で用意すること。競技場では用意しない。
- (4) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負えないので、各自スポーツ傷害保険に加入すること。
- (5) 出場者が 5 名以下の種目については実施しない。
- (6) タイムテーブル、審判編成、競技注意事項は事前にアスリートランキングに掲載する。
- (7) 自然災害、事件・事故及び疫病等により、大会(競技会)が中止となった場合の参加料は返金しない。  
但し、一定期間事前に中止又は延期が決定された場合には参加料の全額又は一部を返金することがあります。

11 問い合わせ・連絡先 札幌陸上競技協会 大会担当総務 井上 晃男 メール [sapporokirokukai@yahoo.co.jp](mailto:sapporokirokukai@yahoo.co.jp)

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

## 2. 練習場及び練習について

- (1) 練習は、本競技場の許可された場所を使用すること。他の競技が使用するため補助競技場の練習は禁止。室内練習場は雨天時の避難用にしようするため使用は禁止。マーシャルの指示に従うこと。
- (2) 投擲種目の練習は危険防止のため禁止とする。

## 3. 招集について

### (1) 招集方法

- (ア) 競技者はプログラムに指定された時間までに、各競技場所に直接集合し、出発係の最終確認を受ける。
- (イ) 代理人による招集最終確認は認めない。

## 4. アスリートビブスについて

- (1) 全ての競技者はユニフォームの胸・背に確実に付ける。跳躍競技の競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけでよい。
- (2)トラック競技に出場する競技者は、各自用意した腰ナンバーを短パンの右腰やや後ろに付ける。  
(腰ナンバーを用意できない者については、本部にて1枚100円で販売する)

## 5. 競技について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピット・短距離走の走路をバックストレートフィニッシュに変更することがある。その際、招集開始時刻の1時間前には放送を通じて連絡を行う。
- (2) 短距離走のフィニッシュ後は、競技者の安全のために自分のレーン（曲走路）に沿って走り終わること。
- (3) スタートの合図は英語で行い、各レースでの不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (4) フィールド内での投てきの練習は、必ず審判員の指示に従う。競技中フィールド内での練習は絶対に行わないこと。
- (5) 競技結果や番組編成は掲示しない。大型映像およびアスリートランキングにて確認すること。

## 6. 競技場内への入退場について

- (1) 競技場への入退場は全て、競技役員の指示により行う。競技者以外はトラック・フィールドに立ち入ることとはできない。
- (2) トラック競技における競技者は、第2ゲートから退場し、メインスタンド前は通らない。  
\*バックストレートフィニッシュの場合、ゴール後はそのままトラックを進み、第1ゲートより退場して、競技場玄関前を通り、第2ゲートより入場してスタート地点に戻る。(バックスタンドは通らない)
- (3) フィールド競技における競技者は、当該競技役員・マーシャルの指示に従い退場する。
- (4) 選手同士の密を避けるため、選手への付き添い等は行わない。

## 9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は全て、主催者が用意したものを使用する。ただし、やり投のやりは個人所有のものを認める。ただし、用器具庫前にて競技開始1時間前迄に検定を受けること。
- (2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納すること。(マーカーの数は既定の数を超えないこと。)
- (3) 競技で使用する滑り止め(炭酸マグネシウム等)は各自で用意すること。競技場では用意しない。

## 10. 競技用靴について

- (1) 競技場は全天候型舗装であり、スパイクピンの数は11本以内で、長さは9mm以内とする。やり役では12mm以内とする。
- (2) トラック種目で、厚底シューズ(ソール厚25mmを超える物)は使用できない。

## 12. 応急処置について

競技会中に発生した傷害や疾病は、主競技場内の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

13. コロナウイルス感染拡大の防止にあたり、次の項目を遵守すること。

- (1) 本競技会は、コロナウイルス感染拡大防止の観点より、競技者は中学(サイドスタンド)、高校(バックスタンド)一般(メインスタンド)を使用し、競技者のトイレは事故防止の観点で屋内のものを使用する。  
\*観客の入場時は検温・手指消毒を行ったのち、リストバンドを着用して入場すること。
- (2) 出場する競技者は所定の体調管理チェックシートを大会総務まで提出すること。(チームの場合はまとめて提出)  
(競技会一週間前から記入し、入場時に団体単位で提出。用紙は札幌陸協 HP よりダウンロードして使用)
- (3) 各団体代表者は所属選手の健康状態の把握に努め、異常がある場合は直ちに対応し、主催者に報告すること  
※主催者の指定する待機場所を使用すること。
- (4) 体温が平熱を大きく超えていたり、体調がよくなかったりする場合には自主的に参加を見合わせる事。
- (5) 同居家族や知人に感染が疑われる方がいる場合には自主的に参加を見合わせる事。
- (6) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地方な等への渡航または当該在住者との濃厚な接触者がある場合は自主的に参加を見合わせる事。
- (7) 必ずマスクを持参すること。(運動時以外はマスクを着用すること)
- (8) こまめな手洗いや洗顔などを実施すること。(主催者が石けんを設置する)
- (9) 用具(砲丸 ハンマー やりなど)使用後は手洗いまたはスプレーで除菌をすること。
- (10) ウォーミングアップは個別に行い、「密」をつくらぬよう心掛けること。
- (11) 運動中、痰やつばを吐くことは極力行わないこと。また、ゴミはすべて持ち帰ること。
- (12) どの場面においても、他の競技者、競技役員との距離をできるだけ確保すること。
- (13) 大きな声での会話や応援はしないこと。拍手での応援が望ましい。
- (14) 各チームは待機場所のスペースにゆとりを持たせるよう努め、できる限り密を避けること。
- (15) テントを使用するチームは密閉状態にならないように留意し、換気を心がけること。(雨天時でも30分に5分は換気すること)
- (16) 飲食については周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け、会話を控えること。
- (17) タオルの共用、ドリンクの回し飲みはしないこと。
- (18) 団体代表者は、選手の競技場滞在時間が短くなるよう配慮すること。
- (19) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などを報告すること。
- (20) 感染予防のために主催者が決めた他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (21) 大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

14. 開門及び本競技場開放時間等について

- (1) 各駐車場 6:30開門
- (2) 本競技場・補助競技場 7:00開門  
(入場のために開門するゲートは第1ゲートのみとする。競技の際は第2ゲートも開放)
- (3) メインスタンドは一般の選手および観客席とする。(観客席は範囲を指定)  
出場チームでテントを設営する場合は、高校(バックスタンド) 中学(両サイドのスタンド)を使うこと。  
※3密を避けるため開門するまでゲートの前には集まらないこと。  
※お願い 開門後、会場設営を行うので、顧問の皆様のご協力をお願いします。
- (4) 本競技場開放時間  
10月16日(土) 7:30~9:00
- (5) 競技役員全体打合せ 7:45 メインスタンド前集合

15. その他

- (1) 競技場内には規定外の商社名・商品名を付けたスパイク袋またはバックを持ち入れてはいけない。
- (2) 競技の進行上、競技開始時刻が変更になる場合があるので、放送に注意すること。
- (3) トラブル防止のため、競技場スタンドに撮影禁止区間を設ける。
- (4) ゴミの始末については、各自・各チームで責任を持って行い、競技場にはいっさい捨てないこと。
- (5) テントの設置は、取扱説明書をよく読み設営をしっかりと行い、風が強いときはたたむなど対策をすること。
- (6) 本大会に関して寄せられた個人情報、本大会の目的以外に使用することはない。  
参加申込により、この取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・チーム、学校名・学年・記録の紹介や掲示板、ホームページに掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。また、撮影された映像がインターネットにより配信される。